

# 令和6年度ごみゼロやまがた推進県民会議産業部会議事録

## 《日時》

令和7年2月25日（火）10時30分～11時35分

## 《場所》

山形県庁1201会議室

## 《出席委員》（※会長、副会長、委員名簿順）

千歳毅委員（会長）、荒生卓真委員、五十嵐律子委員、石塚昭宏委員、川口正男委員、佐藤清委員（代理：細川江里子氏）、長谷川正芳委員（代理：山田茂雄氏） 計7名

## 《産業部会》

### 1 開会

【事務局】（鈴木部会長が欠席のため、鈴木部会長の指名により、千歳会長に座長を依頼し了承を受けたことを説明。）

### 2 あいさつ（千歳会長）

### 3 議事（座長：千歳会長）

#### (1) 報告

##### ① ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等について

【各委員】（資料1により報告）

【事務局】（欠席委員報告分について、資料1により報告）

#### (2) 協議

##### ① 令和7年度「ごみゼロやまがた県民運動」（職場編）展開方針（案）について

【事務局】（資料2により説明）

## ＜質疑・意見等＞

### 【石塚委員】

食品ロスの削減に関し、宴会で食べきれなかった料理の持ち帰りについて、料理や時期的に難しい場合に、お店側が戸惑う場面を見かける。店側への相談・配慮に関する記載を加えてはいかがか。

### 【五十嵐委員】

以前、衛生面から食べ残しの持ち帰りは推奨されていなかったが、最近は食品ロス削減の取組みの一環としての持ち帰りが進められている。衛生管理の責任は客側にあるとはいえ、持ち帰ったオードブルを隣近所に配る方もいる。旅館側でも問題が生じないよう、説明を徹底しているところ。持ち帰り容器は、旅館側でも準備はしているが、持参する客もいる。

**【事務局】**

令和6年12月に国から公表された「食べ残し持ち帰り促進ガイドライン」では、事業者側からの衛生面に関する十分な説明が重要とされている。消費者側も持ち帰った後の衛生管理は自己責任であり、事業者からの説明事項を守ることとされている。

県としても、事業者、消費者の双方に向けて周知を徹底していききたいと考えている。展開方針への記載については検討したい。

**【千歳会長】**

県民運動（職場編）の展開方針案については、部会長に一任していただき、事務局と調整の上、来年度の総会に提出することとしてよいか。

**【各委員】**

異議なし（了承）

**② 令和7年度「ごみゼロやまがた県民運動」の活動内容（案）について**

**【事務局】（資料3により説明）**

**<質疑・意見等>**

**【川口委員】**

ごみゼロやまがた県民運動キャンペーンにおいてチラシを配布するとあるが、ポスターを設置するなどの取組みはどうか。

コンビニエンスストアなどでは、スプーンなどの使い捨ての食器類の要否を確認されない場合がある。手に取ってみてもらおうチラシに加えて、ポスターなどがあれば、自発的な辞退の取組みが進むのではないかと考える。

**【事務局】**

キャンペーンで配布するチラシは、3Rの様々な取組みについて記載した冊子になる。また、「もったいない山形協力店」の取組みにおいて、スーパーや飲食店等には、登録時と更新時にポスターを配付している。行動につながるようにポスターの内容を工夫しながら取組みを継続していきたい。

**【千歳会長】**

ごみゼロやまがた県民運動の活動内容（案）については、部会長に一任していただき、事務局と調整の上、来年度の総会に提出することとしてよいか。

**【各委員】**

異議なし（了承）

**(3) その他**

**【事務局】** 展開方針について、各団体におけるより一層の周知をお願いする。

**4 その他**

**【事務局】** 来年度のごみゼロやまがた推進県民会議に関するスケジュールについて説明

**5 閉会**